



ばんいろ

YOI unofficial fanbook vol.12 YURIXVICTOR BY 3cloudy R18

やま





さんいろ


YOI unofficial fanbook vol.12 YURIxVICTOR BY 3cloudy R18

やましい






銀色を見ると彼を思い出す



雪のように白くぬける  
なめらかな肌



長く繊細な銀色に  
ふちどられた青色の宝石

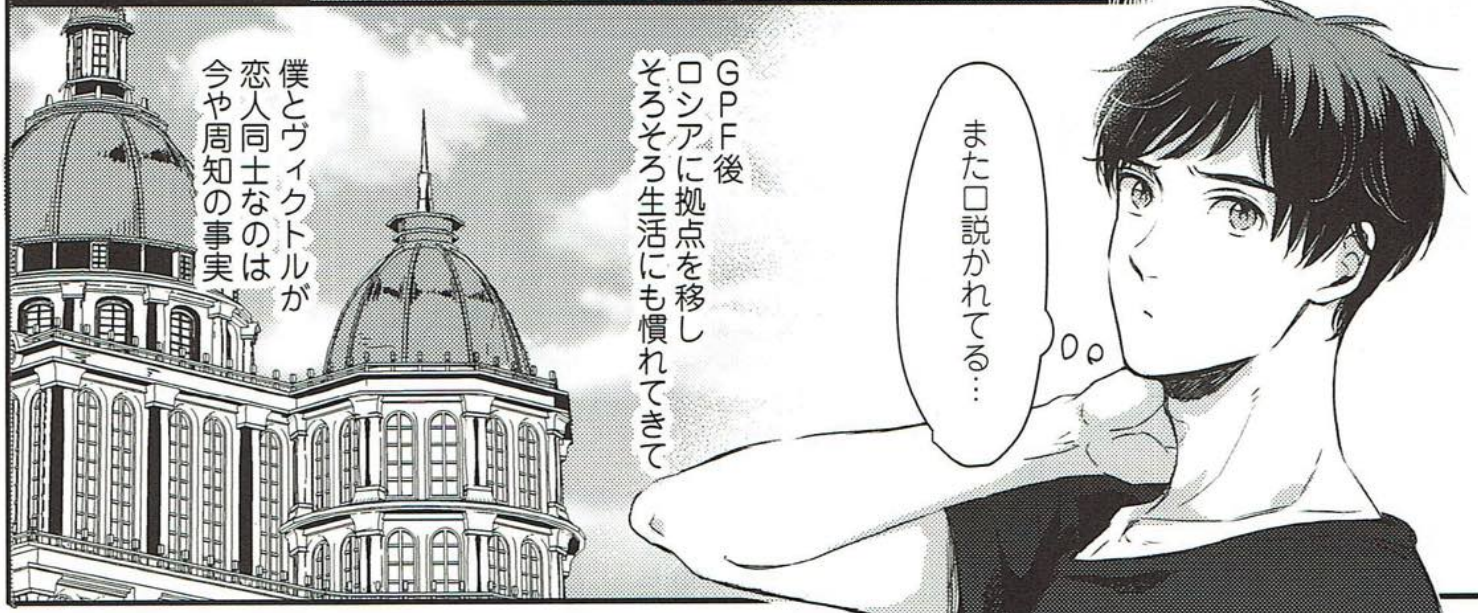


氷のように透き通る  
さらさらと流れる銀糸

僕の世界はいつからか 銀色一色になった











でもちよつと露骨すぎ...

ムー



ある程度のボディタッチは仕方ないって分かってる

日本を飛び出て海外を知ればそれが普通なんだって僕自身、身をもって知ってる



—そんなの僕が一番よく知ってる



どうせ僕なんかより自分の方が満足させられるとか

お似合いたとかそういう事を言ってるんだろう



とろけさせる様な甘く低い声も

僕にはない

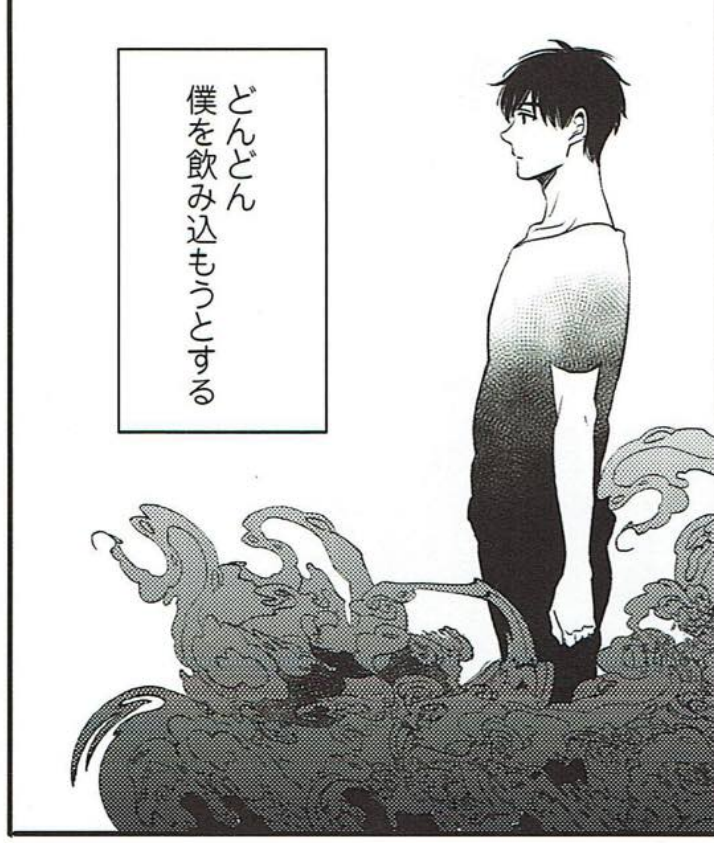


男らしい骨格も



ヴィクトルより逞しい身体も





どろどろ  
僕を飲み込もうとする



黒い渦が



僕から見たってお似合いだよ



渦巻く感情なんて  
なかった

氷上のプリンセス  
熱愛か!?

スクープ!!

世界1位のアイススケート  
選手が恋した  
日本でも最大な人気を誇るフィギュアスケーター  
ヴィクトル・ニコフォロフ(24)

週日曜発売!

ヴィクトルが誰とどうしたって  
その相手を羨ましいとは思っても



それはヴィクトルと  
近い関係になるまでは  
存在しなかった感情で



僕には関係のない  
世界だったから

だって  
まるでそれは



でもいじこいじこく  
否定はじめてたよな...

なにこの人  
全然釣り合っていないから

大体ヴィクトルの方が  
美人って時点で  
お察しだよ

ガセ記事だよな

はああ...

まさかそのブーメランが  
今頃自分に返って  
くるなんて...

黒い渦は  
どんどん色濃くなっているって

いつか戻れなくなりそうで

勇利♡

ハハハ

イメトレ  
終わった？

え!?

あっ

うん!

ビクッ







5分離れてただけでしょもう!

俺は寂しかったよ♡

あんまり人前じゃ…!



ちゅっ♡♡

んっ♡

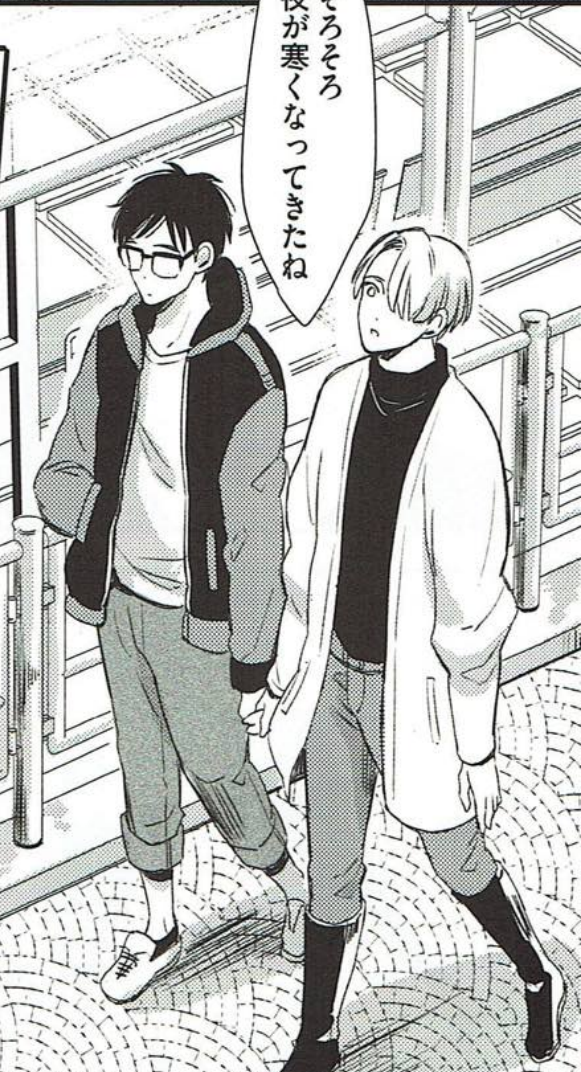
ちよっ  
ヴィクトル!

寂しかった?  
グイッ

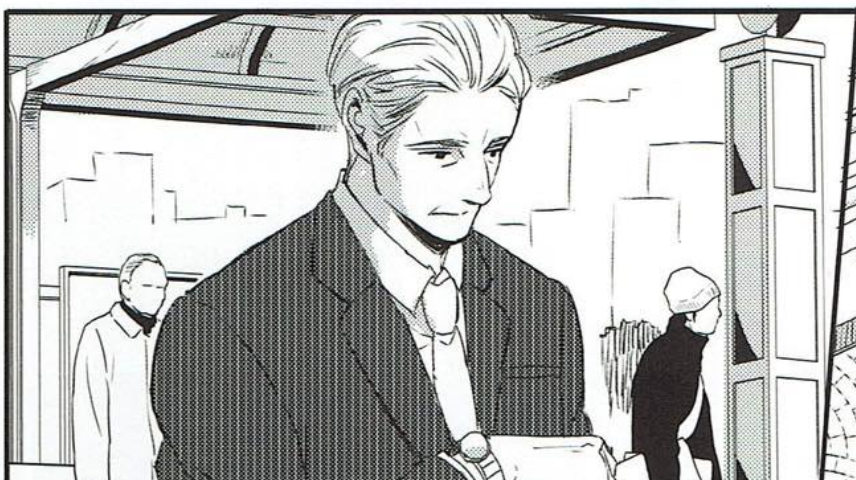


うん…

そうだね



そろそろ夜が寒くなってきたね





例えば僕が  
サラリーマンだったら  
どうだったかな？



英語が全然  
喋れなかったら？



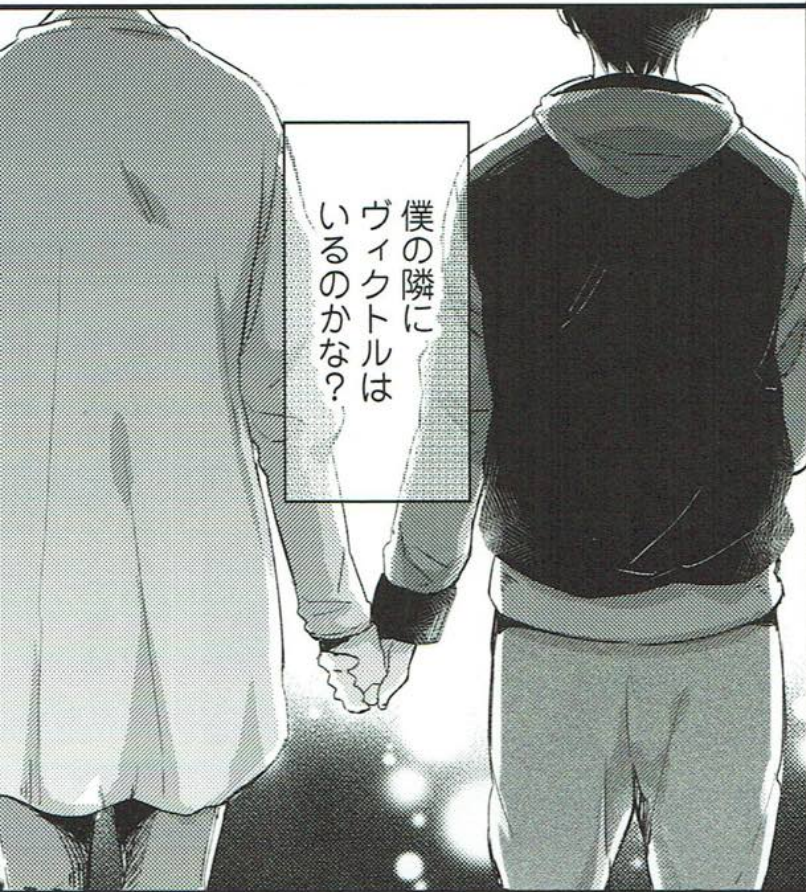
もっともっと  
歳が離れてたら？



今の「僕」じゃなかったら  
どんな今を生きてただろう



僕の隣に  
ヴィクトルは  
いるのかな？



わっ！

ちゅっ♡





勇利どうかした？

疲れてる？

ヴィクトルはどうして  
こんなにも嫉妬深くて  
特に取り柄のない僕を  
無条件に愛してくれるんだろう

受け止めてくれるんだろう

その容姿とカリスマ性は  
世界の誰もが認めるもので

そのヴィクトル・ニキフォロフが  
僕の恋人だという事実も

今ではもう慣れたし  
違和感はない

でも、ふとした時に  
今更だけど  
考えてしまうんだ

ううん

大丈夫

——なんで  
僕だったのかなって





ヴィクトル…  
かな



勇利  
今夜何食べたい？

ん？  
うーん…



へへ  
冗談だよ

この前作った  
和風ボルシチ  
ヴィクトル気に入って  
くれたでしょ？

あれ作るよ！

ワオ！いいね！  
食べたいな♡



納得できるのかも  
しれない

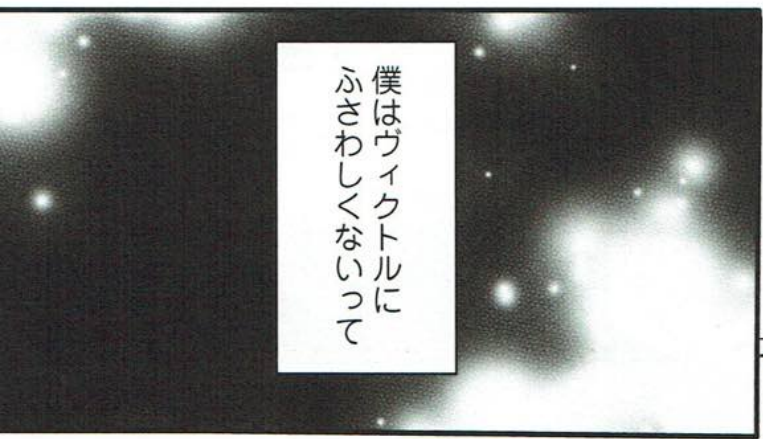
ん



受け止めてくれることが  
だんだん苦しくなってきた

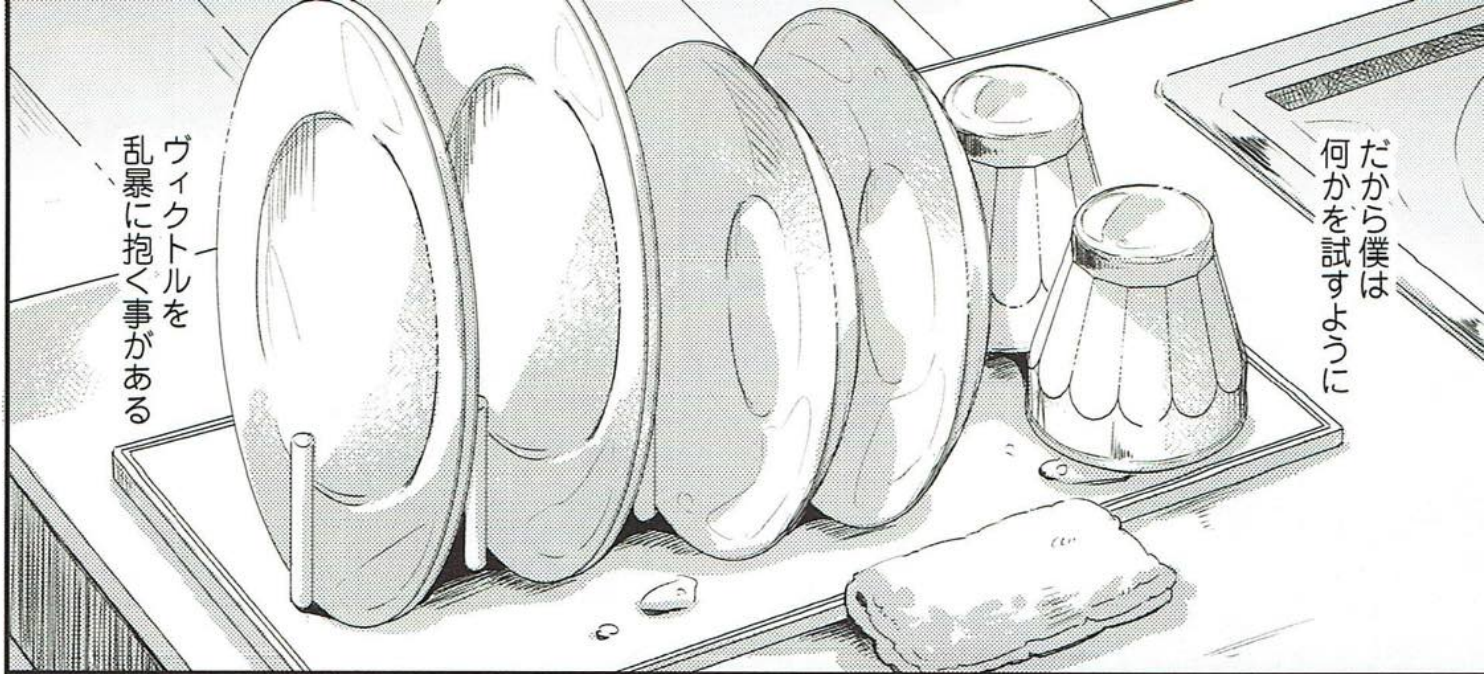
じゃあ  
パン買って帰ろう

いっそ拒んでくれた方が  
楽になるのかもしれない



僕はヴィクトルに  
ふさわしくないって





ヴィクトルを  
乱暴に抱く事がある

だから僕は  
何かを試すように

まるでヴィクトルからの「死の宣告」を待つように







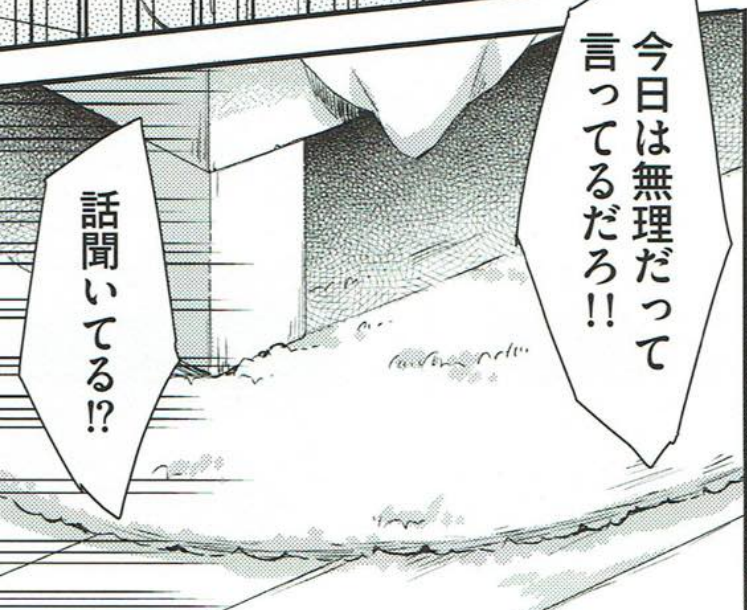
勇利：ごめん  
今日は疲れてるから

明日の練習に響くし  
もう寝よう？



つちよっと！

勇利ってば!!



今日は無理だって  
言ってるだろ!!

話聞いている!?



ゆうり…





無理やり  
抱くから？



ゆう…

僕がひどく  
するから？

無理だつてば！！



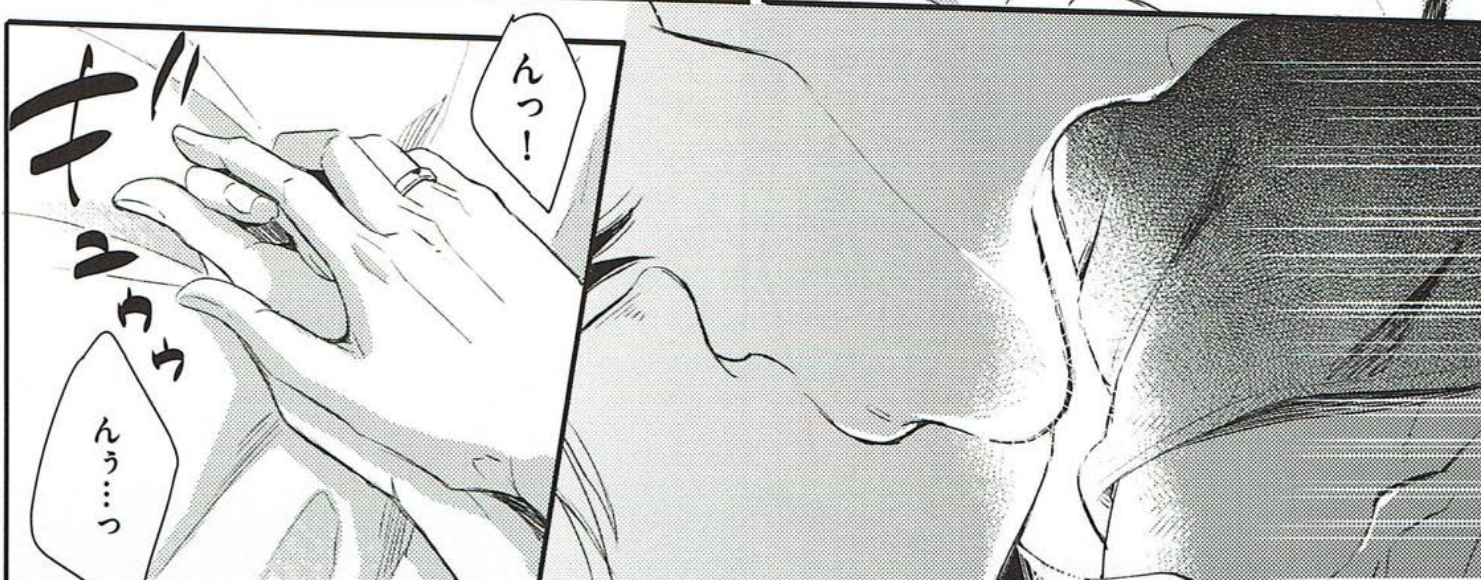
勇利らしくないよ

—変だから嫌いって言つてよ  
もう一緒にいたくないって



嫌だつて言つてよ

…勇利  
最近変だよ



んっ！

んう…っ



止めて  
ヴィクトル

俺本気で怒るよ  
勇利!

離してよ!

…ッ!

勇利待って!  
いきなりそんなの  
無理だつてば…

なんで  
嫌がるの?

僕を止めて



恋人なんだから  
セックスするのは  
当然でしょ？

こんなの  
セックスじゃない!!

…ああそう

じゃあもう何でもいらいよ

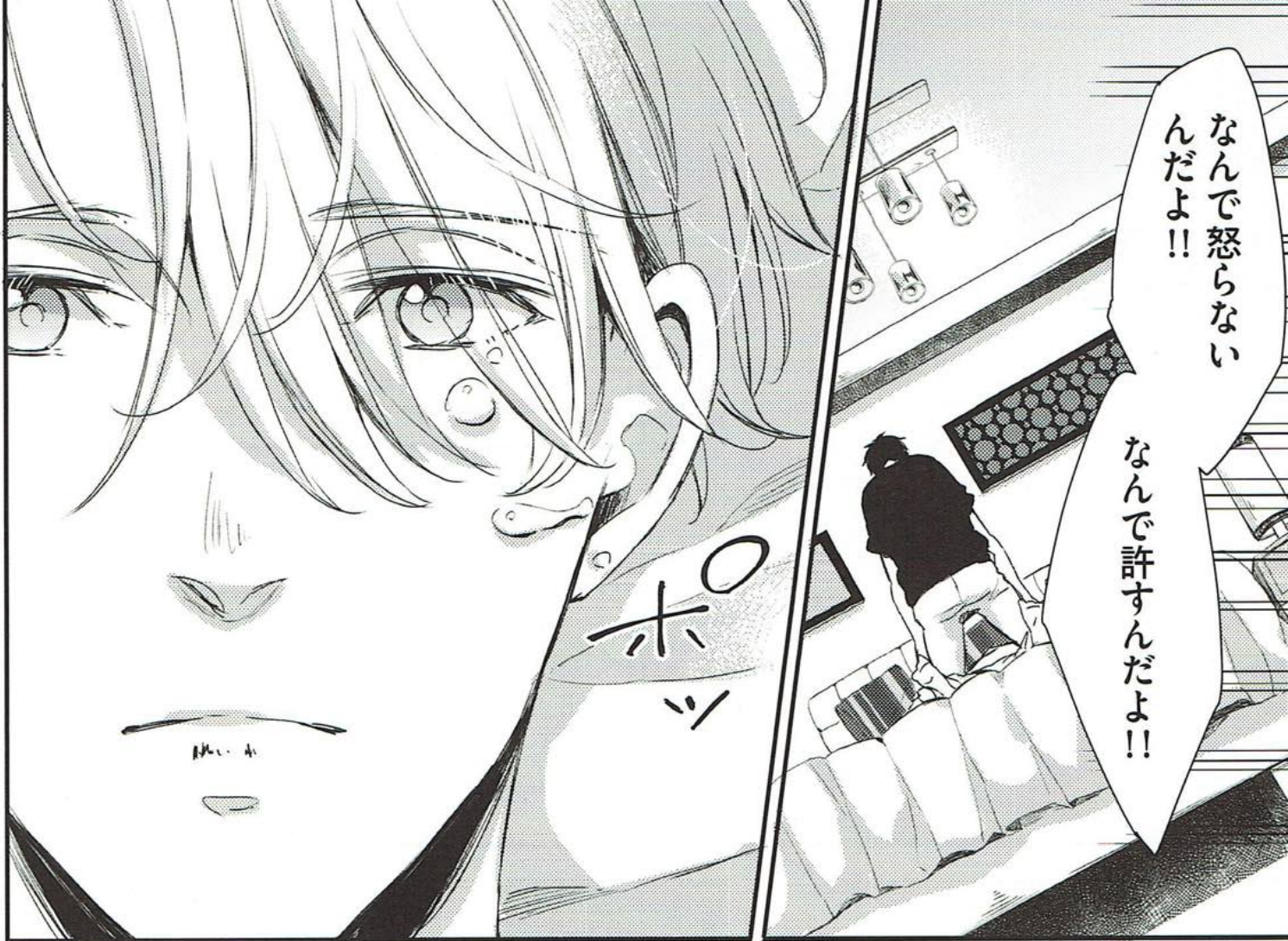






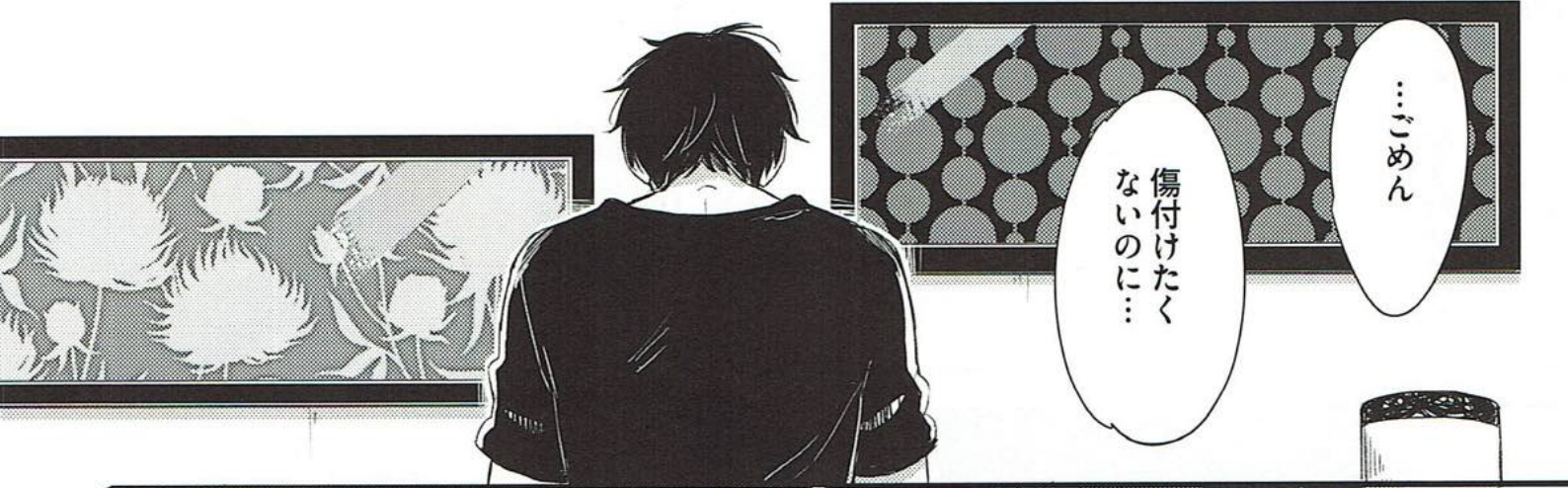
…ばっかじゃない？





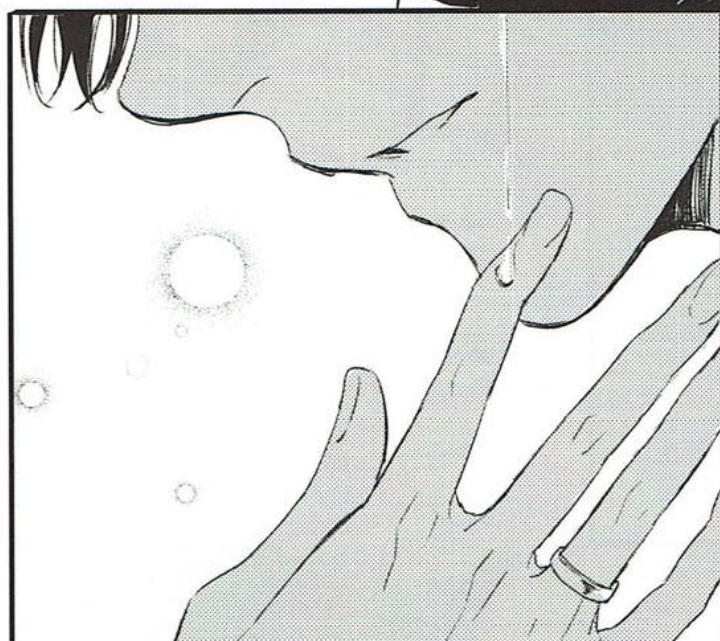
なんで怒らないんだよ!!

なんで許すんだよ!!



…ごめん

傷付けたくないのに…



俺が泣いてるんじゃない



違うよ勇利





勇利が  
泣いてるんだよ

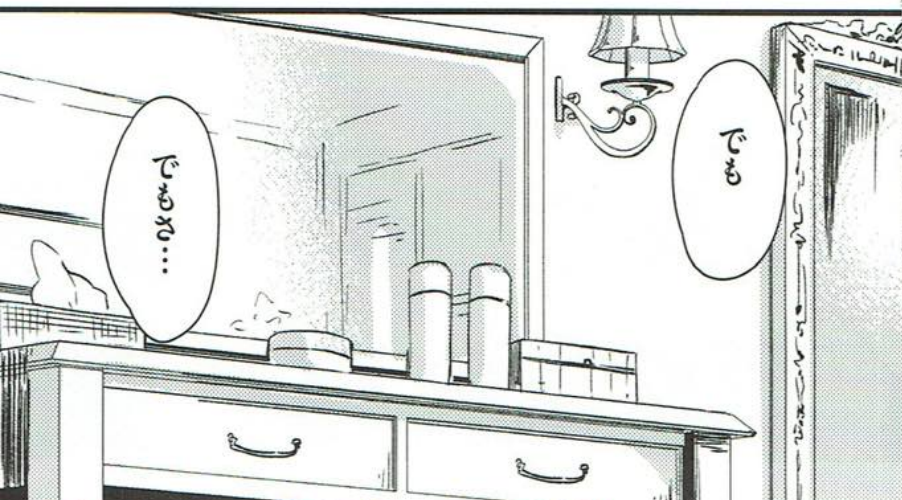


ヴィクトルが  
僕のこと本当に  
愛してくれているのは  
分かっているんだ



ねえヴィクトル…

僕…



じゃあ…

でも







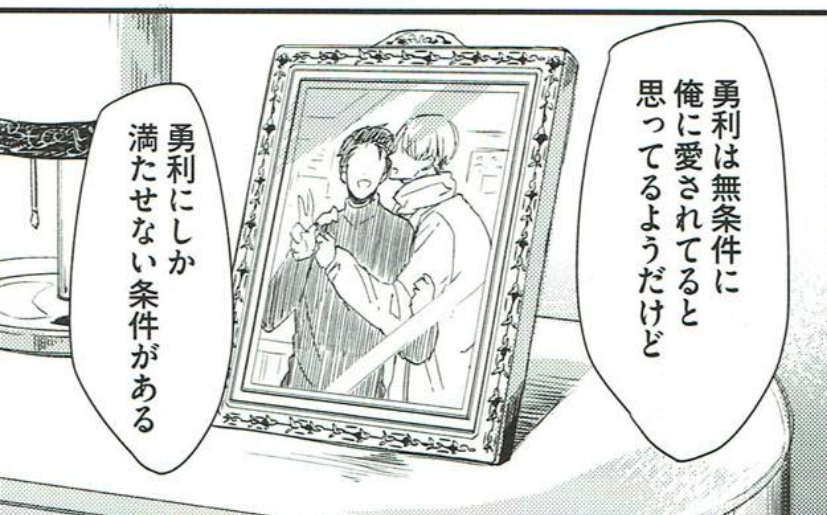


悪いけど

俺はそんなに  
安い男じゃない



ウジウジ悩んでる  
ようだからハッキリ  
言っておけるよ



勇利は無条件に  
俺に愛されると  
思ってるようだけど

勇利にしか  
満たせない条件がある







えっ!?

あ...えと...うん  
全部好きだけど

全部だろうけど

勇利  
俺の好きなところ  
言ってみて



僕が...?

そんなの思いつかない

僕には何もないよ



綺麗で透き通る  
銀色の髪も

世界一美人で  
セクシーで

ヴィクトルが一番よく  
分かってると思うけど



白くて  
すべすべの肌も



しなやかな  
指先も







男の僕から見ても  
惚れ惚れするくらい  
完璧にかっこいい

でもね

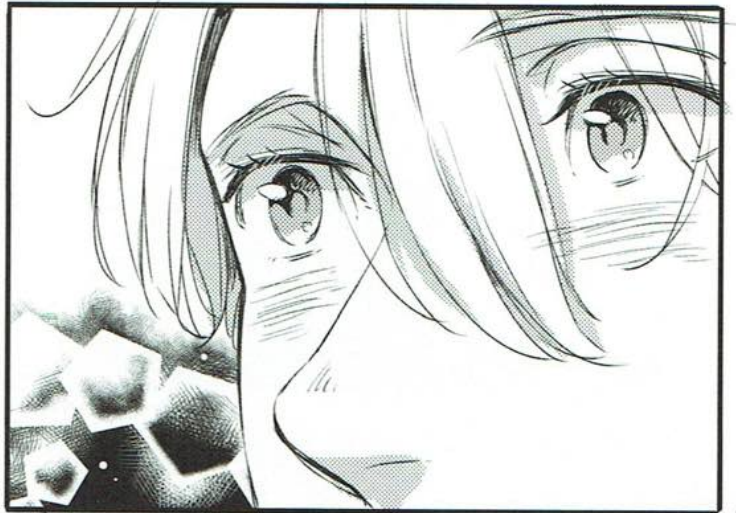
一番好きなのは  
そんなにかっこいいのに

実は純粋で  
健気で可愛いところ



ヴィクトルは結構  
人の事振り回すけど

でも  
全然憎めなくて




すごく  
可愛くて

弱いところも  
あって

見た目どおり  
ガラスみたい  
に脆い部分もあってさ


それで






僕にだけは  
それを見せてくれる


勇利



俺はそういう  
勇利だから



そう言ってくれる  
勇利だから  
こんなにも愛してるんだ



勇利は本当の俺を  
見つけてくれた  
王子様だからね





俺の愛は無条件  
なんかじゃない

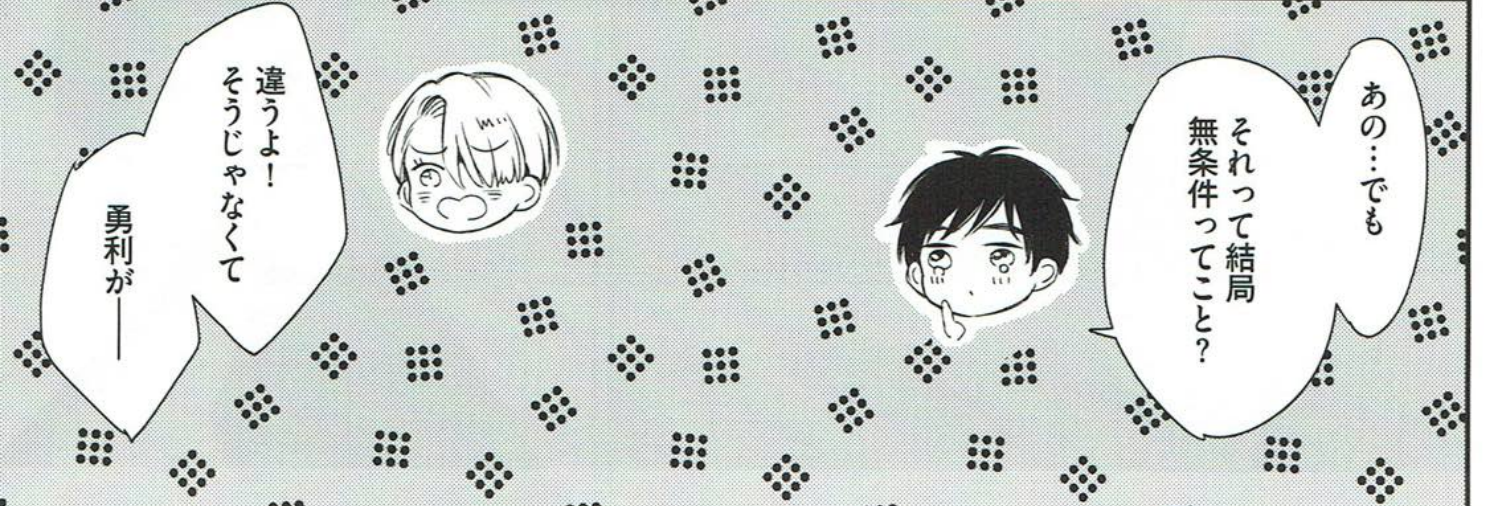
勇利が勇利であることが  
絶対条件だよ



ヴィクトル…



勇利だから  
無条件に愛してるんだ



違うよ！  
そうじゃなくて

勇利が

あれ…でも  
それって結局  
無条件ってこと？





あれ...?

ホロ

ワオ...

はは



ホロ

ホロ



ヴィクトル



勇利...俺ね



多分怖かったんだ

最近の勇利を見てて

勇利が俺の知らない  
ところで

俺から離れていきそうで

だから今

すごく  
安心してる

わ、  
わ、













ん  
いつもの勇利みたいに  
優しくして



明日練習だけど  
その…やっぱり  
エッチしたい



ちゃんと優しく  
する



今夜は俺が優しく  
してあげられないかもね



だって…



あ  
でも





勇利が病んじゃうくらい  
俺の事愛してくれて

今最高に  
興奮してるから♥



満足するまで  
離さないよ

王子様♥

どいまで  
お付き合いますよ  
お姫様♥





あっ  
ねえ 勇利

ん

もっと興奮し……

はっ

焦らさないで  
もっと……

カカ  
ブッ

ガッ



だ…め!  
物足りないよ

女…めっ…

もっと  
激しくして

スッ  
スッ



優しくしてる  
つもりだけど…





駄目だよ  
ヴィクトル

ひどくするのは  
好きじゃないよ



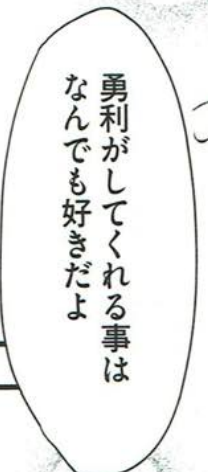
ふっ...♡♡

ふっ♡♡



これは

勇利の特権だからね

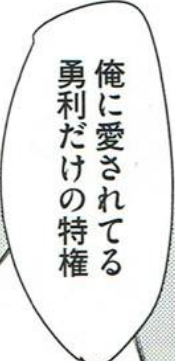


勇利がしてくれる事は  
なんでも好きだよ

は

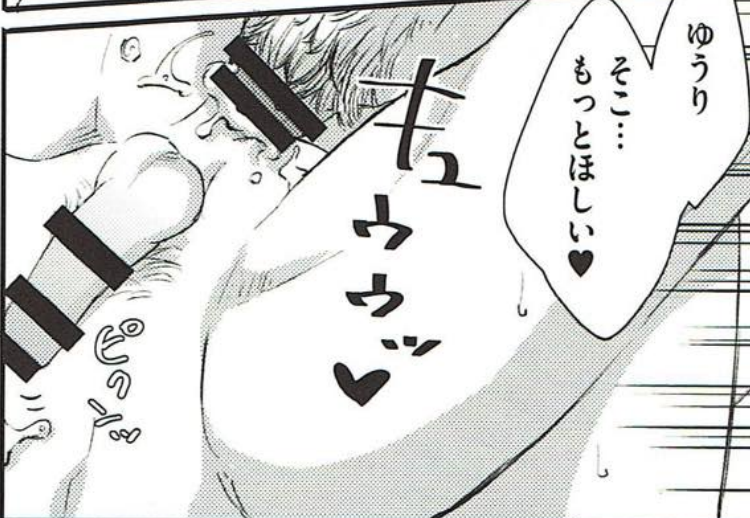
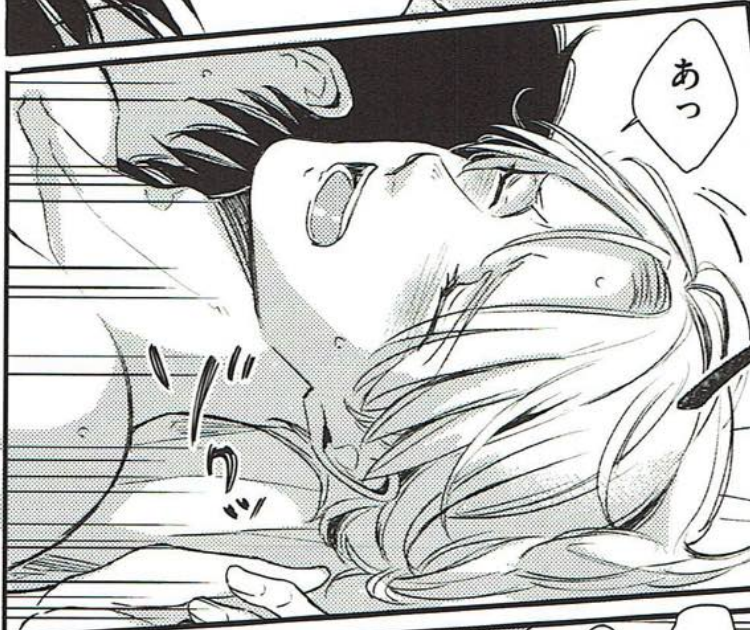


だから  
好きにしていよ



俺に愛されてる  
勇利だけの特権





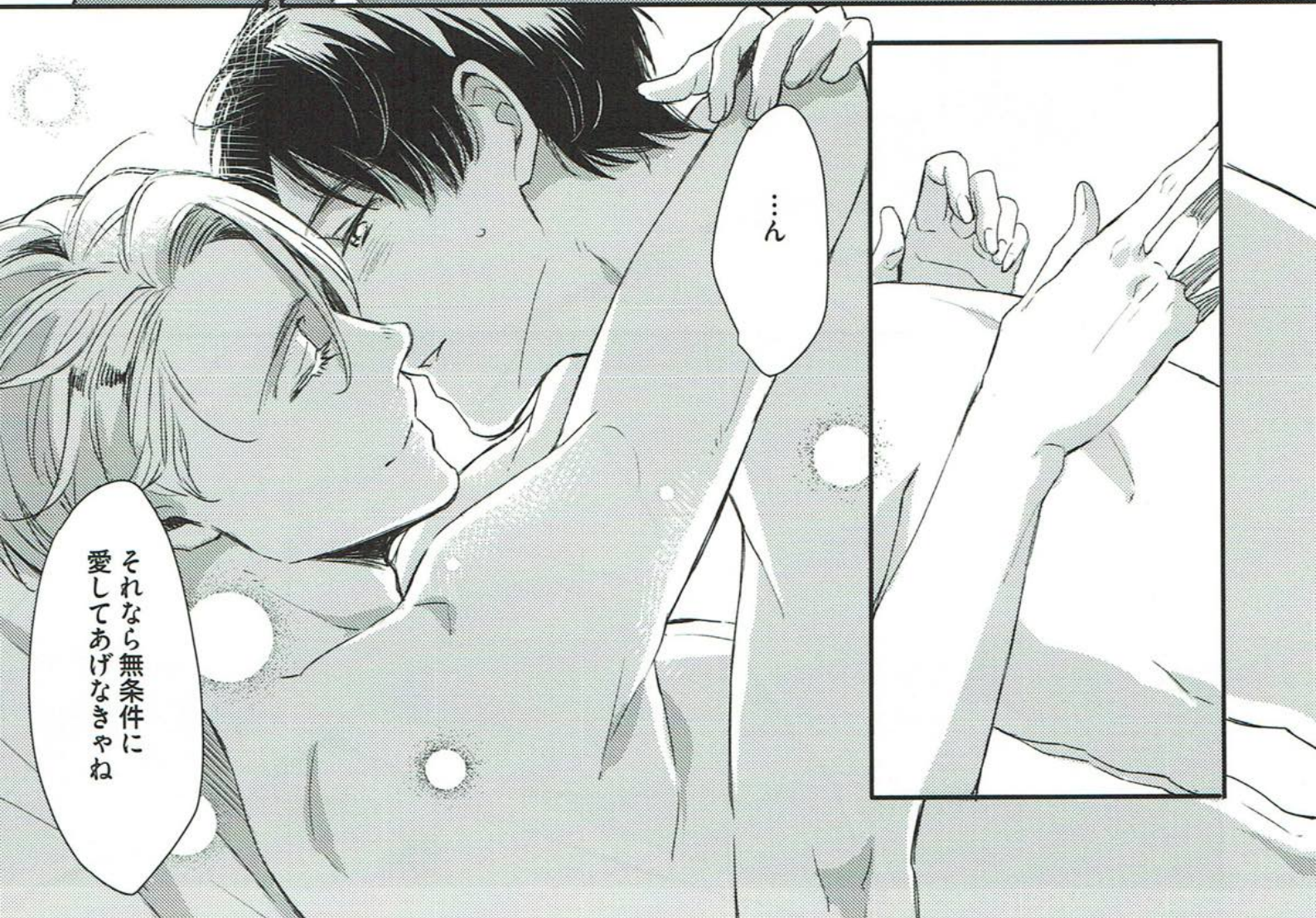




これからも  
僕は僕でいる

僕でいるよ


ヴィクトル・ニキフォロフを  
誰よりも愛してる




…ん

それなら無条件に  
愛してあげなきゃね






氷のように透きとおる  
サラサラと流れる銀糸



長く繊細な銀色に  
ふちとられた青色の宝石



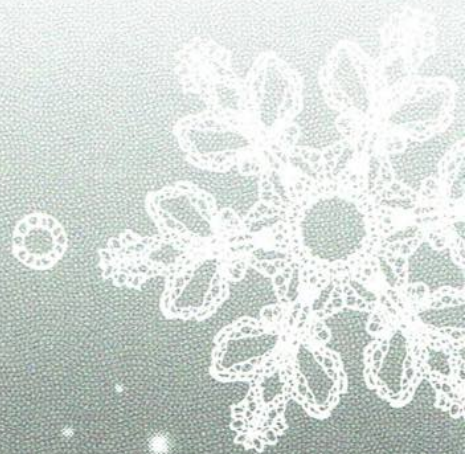
雪のまじりに白くぬける  
裏腹に熱い身体



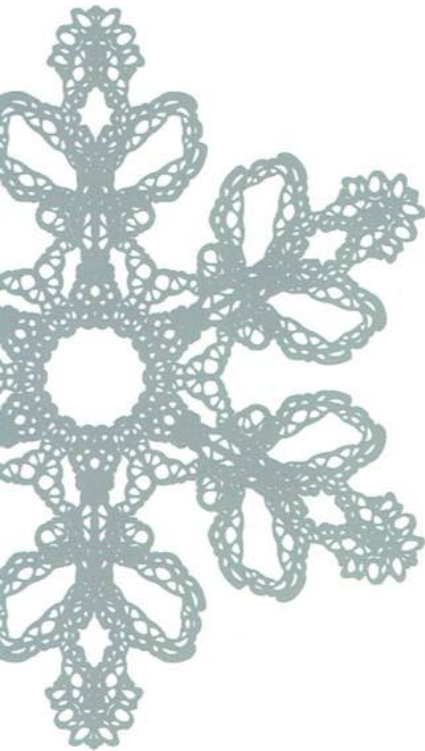
僕の世界は

ほら、

やっぱり銀色一色になる







YOI unofficial fanbook vol.12

ぎんいろやまい

YURIXVICTOR BY 3cloudy R18

